

2026 年 10 月 15 日

報道関係各位

三菱地所レジデンス株式会社
株式会社三菱地所設計**2026 年度グッドデザイン賞 三菱地所グループ全体で 3 件受賞**

～三菱地所グループ 24 年連続の受賞～

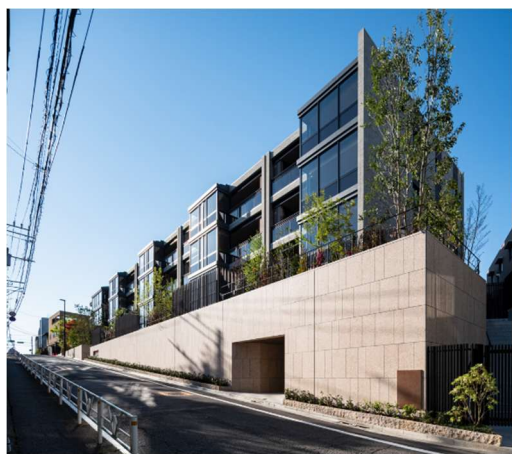


三菱地所グループの三菱地所レジデンス株式会社、株式会社三菱地所設計は、2026 年度のグッドデザイン賞で、集合住宅「ザ・パークハウス 代々木大山レジデンス」、伝統工芸支援のためのメディアデザイン「若手の伝統工芸作家のために、マンション共用部を発表の場とするメディアデザイン」、オフィスビル「Hirooka Terrace」の 3 件が受賞しました。

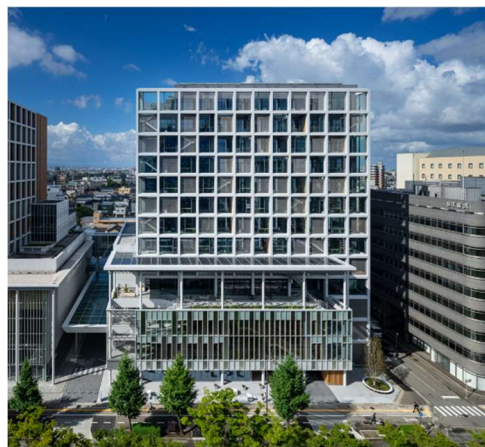
<2026 年度グッドデザイン賞 受賞プロジェクト一覧（全 3 件）>**【集合住宅「ザ・パークハウス 代々木大山レジデンス」】****【伝統工芸支援のためのメディアデザイン****「若手の伝統工芸作家のために、マンションの共用部を発表の場とするメディアデザイン」】****【オフィスビル「Hirooka Terrace」】**

グッドデザイン賞は、三菱地所グループとして、1998 年度に「クイーンズスクエア横浜」で初めて受賞。2003 年度からは 24 年連続の受賞となります。

三菱地所グループは、今後も「人を、想う力。街を、想う力。」というブランドスローガンのもと、まちづくりを通じて社会に貢献してまいります。



▲「ザ・パークハウス 代々木大山レジデンス」

▲「ザ・パークハウス 亀戸九丁目」
階数表示

▲「Hirooka Terrace」

■受賞プロジェクトの紹介

<住宅事業グループ～23年連続受賞～>

1. 集合住宅「ザ・パークハウス 代々木大山レジデンス」(三菱地所レジデンス株式会社)

「ザ・パークハウス 代々木大山レジデンス」は、都心にありながら豊かな緑と広い空を望む渋谷区大山の環境を最大限に活かし、「室内から外へと広がる開かれた暮らし」を実現した分譲マンション。奥行3mのバルコニーにガラススクリーンを設けることで、従来は付帯設備として捉えられてきたバルコニーを、居住空間として積極的に活用できる場へと再定義した。さらに、リビング・洋室・バルコニーを一体にも個別にも使いこなせる「トリプル・リビング」の発想により、住まう人がその時々気分や用途に応じて居場所を選択できる新たな都市居住のあり方を提案した。豊かな自然環境を享受する心地よさと、自由で多様なライフスタイルへの対応を両立した。

(評価コメント)

バルコニーの奥行を広げる試みは近年珍しくないが、多くが面積の提供で止まってきた。この計画が一步先へ進んでいるのは、広さではなく使用頻度を評価軸に据えたことによるだろう。居住経験者へのヒアリングから、天候・視線・設備の三点が使われるか否かを分けると整理し、必要な設えを順に配していく手続きは的確である。奥行3mという寸法も、容積上の扱いを考えれば、事業性を差し出してでも居住空間としての質を選び取った判断と推察される。半屋内化にあたって避難や換気との整合を図る手間も相応にあったはずで、この決断を支えた設計と事業の協働を評価したい。秀逸なのは、窓先空地と突出するバルコニーを交互に並べた構成である。空地側で制約される植栽を突出部の先へまとめることで、法規上の要請を緑のバッファーへ転化させている。人通りの多い北側からの視線が和らぎ、屋外を気兼ねなく使える状態が生まれる。制度への対応がそのまま暮らしの質に結びついた、発明的な解法といえる。都市の集合住宅において外部空間を主役へ引き上げる道筋を、具体的な寸法と設備の水準で示した点は、今後広く参照されるべきだろう。



▲トリプル・リビング



▲奥行3mの半屋外バルコニー



▲外観

2. 伝統工芸支援のためのメディアデザイン

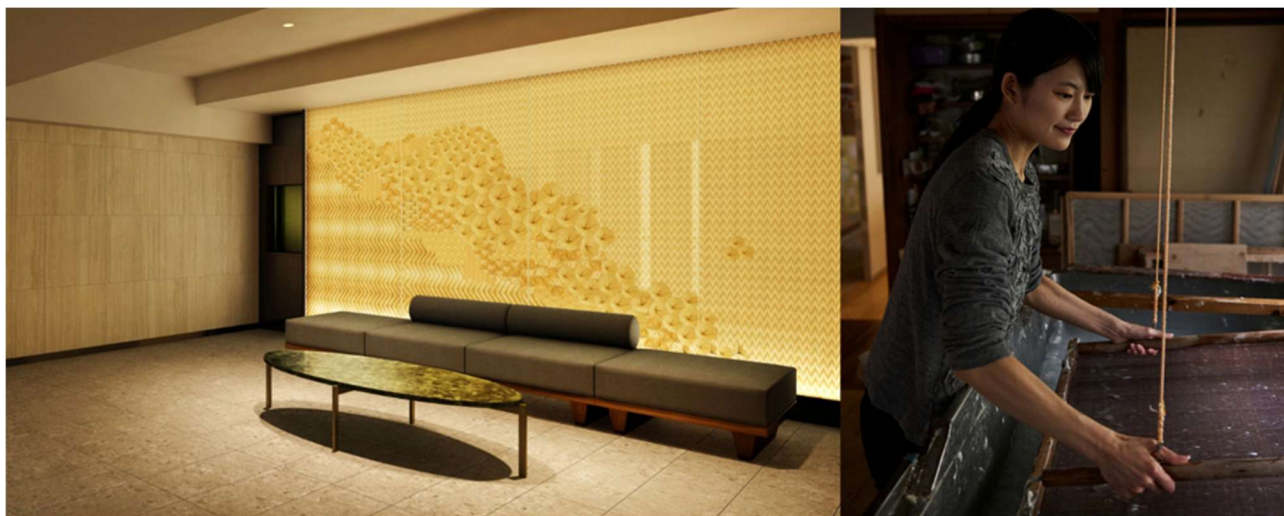
「若手の伝統工芸作家のために、マンションの共用部を発表の場とするメディアデザイン」

（三菱地所レジデンス株式会社）

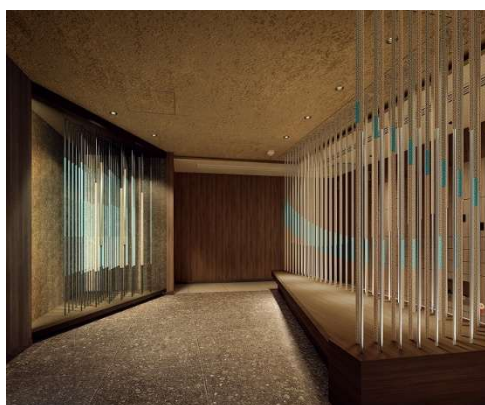
若手伝統工芸職人の活躍機会創出を目的に、分譲マンションの共用部を「継続的な展示空間」と捉え、作品制作・発表の場として活用する取り組み。全国各地の伝統工芸職人への取材活動を通じて見えてきた、「高い技術を持ちながらも作品発表や実績づくりの機会が限られている」という課題に対し、住まいを単なる居住空間ではなく文化発信のメディアとして活用する仕組みを構築した。物件ごとのコンセプトや地域性を踏まえたオーダーメイド作品を制作・展示し、WEB サイトや SNS、モデルルーム、実際の居住空間までを一連の接点として設計することで、生活者と伝統工芸が継続的に出会う機会を創出している。若手職人にとっては新たな実績形成と次の仕事につながる場となり、マンションにおいてもオリジナルアートによる唯一無二の価値創出を実現した。

（評価コメント）

技術のある若手の工芸職人でも、個人の名前で作品を発表する場は少なく、次の仕事は営業力に左右されてしまう。企画展や行政の PR といった支援はあるが単発で終わりやすく、本業と切り離された活動は続きにくい。本件は、マンションの共用部を発表の場と見立て、分譲事業の流れそのものに工芸を組み込んだ。既製品を置くのが通例だった場所に、物件ごとの新作を依頼している点がよい。さらに、作品を職人自身のポートフォリオに使えるようにし、自社サイトでも公開し続ける。場を貸すだけでなく、職人の実績として残るところまで設計されている。すでに産地や分野の異なる職人が組む作品も生まれており、住まい以外の建築へ広がることを期待したい。



▲「ザ・パークハウス 王子」エントランスホール完成予想 CG×薩摩和紙製作所 原口敬子氏



▲「ザ・パークハウス 上野稲荷町」
エントランスホール完成予想 CG（江戸組紐）



▲「ザ・パークハウス 京都烏丸御池」
エントランスホール完成予想 CG（西陣織）

3. オフィスビル「Hirooka Terrace」(株式会社北國銀行、株式会社三菱地所設計)

会話や協創が生まれる大らかな共用部を中心に計画したテナントオフィスビル。隣接する「北國銀行本店ビル」(2014年竣工、設計:株式会社三菱地所設計)とブリッジで接続し、互いの機能を共有するとともに、建物内外に設けた共用部が多様な働き方を生み出す。13階には、金沢の街並みを望むスカイラウンジと複数のカンファレンスルームを配置。会議やイベントなどの活動や交流を促す場として、新たなつながりや協創を生み出す空間となっている。また、全テナントが利用できるテラス・ラウンジは、水平方向に加え、階段や吹き抜けで上下方向にも連続。ジャロジー窓やルーバーの配置は温熱・風環境シミュレーションで最適化し、快適な環境を実現した。さらに、地域資源の活用と創エネルギーの最大化を図り、延床面積が2万㎡を超える高層テナントオフィスビルとして、全国で初めて「Nearly ZEB」およびBELS最高評価を取得した。

(評価コメント)

近年、共用部を充実させて異業種間の交流を生み、多様な働き方やイノベーションを実現するテナントオフィスは増えているが、Hirooka Terrace が特筆すべき点は、その共用部の多くが半屋外であることである。北陸においても、外皮性能を高めて外からの負荷に対して固く閉じるのではなく、地域の気候特性を積極的に取り入れるあり方は、新しい環境配慮型建築の可能性を示している。半屋外空間は高層ビルのファサードを開き、地域の営みを支える銀行として新たなまちの表情をつくることにも寄与している。



▲「Hirooka Terrace」(中央)と、2014年に竣工、供用されている「北國銀行本店ビル」(左)(撮影: FOTOTECA)



▲4階テラス。全面開放が可能な引き戸を設け、内と外が緩やかにつながる空間(撮影: 福田駿)



▲1階エントランスホール。敷地境界からセットバックした空間に造作家具を配置し、街にひらかれた居場所を創出(撮影: FOTOTECA)

<参考>

三菱地所グループ グッドデザイン賞受賞実績

1998 年度	「クイーンズスクエア横浜」
2000 年度	「丸の内仲通り」
2001 年度	「国立室戸少年自然の家海望台」
2003 年度	「丸の内ビルディング」
2004 年度	「M. M. TOWERS」「日本テレビタワー」「品川セントラルガーデン」
2005 年度	「ザ・フィネスト上野毛パークハウス」「洗足池スタイルハウス」「フォレスト南平台」 「ザ・ハウス南麻布」
2006 年度	「井の頭公園パークハウス吉祥寺南町」「追手門学院大学守衛所」 「明治安田生命ビル街区再開発」
2007 年度	「セントラルガーデン・レジデンス」「ザ・ステージオ」 「読売北海道ビル」「オンワード仙台支店」「国際文化会館」 「横浜ベイクォーター」「新丸ビル」
2008 年度	「M. M. TOWERS FORESIS」「CAPITAL MARK TOWER」 「成蹊大学情報図書館」
2009 年度	「本郷パークハウス ザ・プレミアムフォート」「The Kitahama」
2010 年度	「パークハウス フォレストリエ」「パークハウス 木々 津田沼前原」 「パークハウス瀬田一丁目」「スタイルハウス目黒緑が丘」 「ミッドオアシスタワーズ」「パークハビオ駒沢大学」「soleco (ソレッコ)」
2011 年度	「パークハウス吉祥寺 OIKOS」「パークハウス江ノ島」「豊洲フロント」 「大鉄工業本社ビル」「成蹊学園キャンパス」
2012 年度	「ザ・パークハウス 茅ヶ崎東海岸南」「ザ・パークハウス 六番町」 「5つのアイズ」「スマイラボ」「八事山興正寺 境内整備計画Ⅰ」
2013 年度	「ザ・パークハウス 池田山」「東洋文庫」「熊谷商工信用組合本店」
2014 年度	「丸の内仲通り」「MARK IS みなとみらい」「『はらくつつい東北』シリーズ」 「ザ・パークハウス 代官山レジデンス」「ザ・パークハウス 渋谷美竹」 「ザ・パークハウス 戸塚」「ドレッセ世田谷桜レジデンス」 「スーパータックフィット MNT」 「全館空調エアロテックのダクトレイアウトシステム」「制震賃貸住宅エムアセット」
2015 年度	「ザ・パークハウス グラン 千鳥ヶ淵」ベスト 100 受賞 「マンションのランニングコストの見える化『マンション家計簿』」 ベスト 100 受賞（グッドデザイン・未来づくりデザイン賞受賞） 「築古ビルのバリューアップ転貸事業『Re ビル』」ベスト 100 受賞 「ザ・パークハウス グラン 三番町」「ザ・パークハウス 上鷺宮」 「ザ・パークハウス 追浜」「SKYZ TOWER&GARDEN」 「パークハビオ赤坂タワー」「西新宿 CLASS in the forest」「プレーン・ルームズ」 「そなえるカルタ」「BIO NET INITIATIVE」「脇浜寮」
2016 年度	「ザ・パークハウス 晴海タワーズ」「賃貸物件の無人内覧サービス」 「遊休資産となった社宅再生転貸事業」「新築分譲マンションのための研究開発手法」 「渋谷董友ビル」「本社ビル+企業ミュージアム『安川電機みらい館』」 「『オーダーグラン』駒沢ステージ2 ホームギャラリー」
2017 年度	「ザ・パークハウス グラン 南青山」「ザ・パークハウス 市谷甲良町」 「ザ・パークハウス 東陽町レジデンス」「プレイスヴィラ喜多見」 「BAYZ TOWER&GARDEN」「集合住宅向け PC 工法のシリーズ化」 「空気の価値化『新マンションエアロテック』」「住まいの中に、木の小部屋『箱の間』」 「大手町フィナンシャルシティ グランキューブ」「星のや東京」
2018 年度	「ザ・パークハウス 西新宿タワー60」「蘆花公園 ザ・レジデンス」 「ザ・パークハウス 中之島タワー」「ザ・パークハウス 新宿御苑」 「『そなえるドリル』ドナタデモプロジェクト」 「『各住戸玄関前宅配ボックス』を利用した集合住宅における新しい宅配システム」 「グリーン付家具『ボタニカルファニチャー』」 「ONE ORDER 浜田山ホームギャラリー」「木造住宅最高レベルの高遮音床」

	「旧名古屋銀行本店ビル(THE CONDER HOUSE)」
	「グランモール公園再整備」「横浜ゴム株式会社 研究開発センター第二ビル」
	「X-PRESS 有楽町」
2019 年度	「ザ・パークハウス 五番町」「ザ・パークハウス 桜坂サンリヤン」
	「ザ・パークハウス あざみ野一丁目」
	「Under construction (Un.C./アング)」
	「幕張ベイパーク クロスタワー&レジデンス」
	「連続両面大開口と国産 100%CLT スラブによる深い軒下空間を有する千里・新宿モデルハウス」
	「KOJIMACHI TERRACE」
	「ヒューリックスクエア東京」
2020 年度	「ザ・パークハウス 神戸タワー」「hitoto 広島 The Tower」
	「グランドメゾン浄水ガーデンシティ フォレストゲート」
	「太陽光でお湯を沸かす ZEH-M スキーム『ソレイユ』」
	「一般社団法人幕張ベイパークエリアマネジメント (B-Pam)」
	「丸の内 15 丁目プロジェクト」
	「CIRCLES ～人の輪ができる、まちと繋がるオフィス～」
	「CLT PARK HARUMI」「福島テレビ株式会社本社」「Medicha (メディーチャ)」
2021 年度	「WORK×ation Site 軽井沢」
	「型枠木材のトレーサビリティ認証スキーム」「ザ・パークレックス 大濠公園」
	「瀬田の杜 Garden & Terrace」
	「天然木ノンビス工法外装材」「大手町ビル・リノベーション」
	「LIXIL WING ビル HOSHI」
	「明産霞が関ビル」
2022 年度	「ザ ロイヤルパーク キャンパス 札幌大通公園」「ザ・パークハウス 鎌倉」
	「ザ・パークハウス 新浦安マリンヴィラ」
	「グランドメゾン新梅田タワーTHE CUBE RESIDENCE」「アントグループ本社」
2023 年度	「アナザー・ジャパン」「3rd MINAMI AOYAMA」「天神・因幡町通り地下通路」
	「ザ・パークハウス 自由が丘ディアナガーデン」「チャームプレミア グラン 御殿山」
	「シエリアシティ明石大久保 コミュニティ HUB」「外装用炭化コルク」
	「MEC Industry 鹿児島湧水工場」「大手町観音堂」「Slit Park YURAKUCHO」
	「ホテルオークラ京都 岡崎別邸」「成徳幼稚園」「メゾンカルム日本橋馬喰町」
	「E N E O S マルチモビリティステーション」「ふかや花園プレミアム・アウトレット」
2024 年度	「IKEBUKURO LIVING LOOP」「ベネチ庵／アラビ庵」「MUFG PARK／LIBRARY」「田町タワー」
	「ザ・パークハウス グラン 神山町」「ザ・パークハウス 南麻布」
	「ザ・パークハウス 京都河原町」
	「グランドメゾン浄水ガーデンシティ セントラルフォレスト」
	「レジデンシャル青葉広瀬川」
2025 年度	「グラングリーン大阪 (うめきた公園サウスパーク等先行開業区域)」ベスト 100 受賞
	「O Club」「WOOD FLOOR UNIT3.2」「SLOW ART CENTER NAGOYA」
	「ザ・パークハビオ SOHO 横浜関内」
	「ザ・パークハウス 等々力」「リノベーション住宅における省エネの取組」
	「流通改革による日本の森林を守る取り組み - 木の守プロジェクト」
	「The Warp: Regenerative Wood Design Series」「キャプション by Hyatt 兜町 東京」
	「ニコソ 本社/イノベーションセンター」「バイトダンス成都」「プレミスト南平台」
	「フロントプレイス千代田一番町」「新青山ビル・リノベーション」「長崎スタジアムシティ」
2026 年度	「ザ・パークハウス 代々木大山レジデンス」
	「若手の伝統工芸作家のために、マンションの共用部を発表の場とするメディアデザイン」
	「Hirooka Terrace」

以 上